

|       |            |        |        |
|-------|------------|--------|--------|
| 講義名称  | 日本文化財論     | 担当教員名  | 高山 有紀  |
| 科目群   | 人文学 (HUM)  |        |        |
| 科目区分等 | 芸術 CA7 DI5 | 単 位    | 2      |
| 対象学年次 | 1年・秋学期     | ナンバリング | HUM153 |

|               |  |
|---------------|--|
| 授業のキーワード      | 重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財  |
| 授業の概要         | 奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通じて、「文化財とは何か」について学びます。  |
| 期待される学習成果（目標） | 1、文化財について、正しい知識を得ることができます。<br>2、「普遍的な価値は存在するのか」について、ともに考えることができます。<br>3、四年制大学編入も見据え、基礎的な知識を身につけることができます。 |

| 授業展開 |                      |  |
|------|----------------------|--|
| 回    | テーマ                  | 内 容                                    |
| 1    | はじめに                 | 授業の進め方について説明します。                       |
| 2    | 文化財の基礎知識             | 文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。      |
| 3    | 建造物①                 | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。     |
| 4    | 建造物②                 | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。     |
| 5    | 美術工芸①                | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。      |
| 6    | 美術工芸②                | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。      |
| 7    | 中間課題（グループ・個人を選択）の準備① | 国の重要文化財のうち、建造物か彫刻の中から1点を選びレポートの準備をします。 |
| 8    | 中間課題（グループ・個人を選択）の準備② | 国の重要文化財のうち、建造物か彫刻の中から1点を選びレポートの準備をします。 |
| 9    | 中間課題の報告              | 提出された中間課題のうち、優れたレポートを数件選び報告してもらいます。    |
| 10   | 美術工芸③                | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。  |
| 11   | 美術工芸④                | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。  |
| 12   | 美術工芸⑤                | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。  |
| 13   | 書籍・古文書               | 国の重要文化財に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。  |
| 14   | 群馬の文化財               | 国指定の重要文化財を中心に、群馬の文化財について学びます。          |
| 15   | まとめ                  | 本講での学習内容を総括します。                        |

|                     |   |
|---------------------|---|
| 定期試験                | 文化財1点を選び、レポートを作成します。  |
| 授業時間外学習             | 第1～5講：文化財に関わるニュースに注目し要旨をまとめます（60分）。第6講～10講：中間の課題に取り組みます（60分）。第11～15講：授業でわからなかった箇所を重点的に復習します（60分）。 |
| 評価方法                | 授業への取り組み（リアクションペーパー、中間課題等）30パーセント、レポート70パーセント   |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | プリントを配布します。   |
| 参考文献                | 池田寿『日本の文化財 一守り、伝えていくための理念と実践一』勉誠出版<br>西村幸夫・本中眞編『世界文化遺産の思想』東京大学出版会                                 |